

肌に優しく 医療用冷却剤

松阪と岐阜の企業が共同開発

袋までジェル製 発熱時や産後に

どこを触っても軟らかく、肌に当てても痛みがない「新感覚」の医療用冷却剤を、松阪市と岐阜市の中小企業が共同で開発した。三重、岐阜両県知事が連携することによって2012年に合意した医療・福祉機器開発の「第1号」といい、全国の病院や学校に販売する。

冷却剤は「ふるCURE、アイスバック」（税別3300円）。松阪市の保冷剤メーカー「三重化学工業」が21日から医療用品として売り出す。タッグを組んだ岐阜市の「タナック」も別の名称を付け、美容業界などに販路を求めるといふ。



①完成した冷却剤。奥は、袋がフィルムの一般的な冷却剤②完成した冷却剤をPRする三重化学工業の山川大輔社長（左）と鈴木英敬知事＝県庁

長（約22センチ、幅約10センチ）が、袋までジェル製のため伸ばしたり曲げたりでき、肌に優しくフィットする。一般的な冷却剤は袋がフィルム製のため硬く、特に中身を閉じるシール部分が当たる痛みがあったが、この課題を解消するという。

家庭用冷蔵庫で冷やせ、1時間弱は効果を保てる。医療用としては、発熱時のおでこや、産後や授乳期の胸などを冷やす使い方を提案している。将来的には、スポーツ選手やボランティアスタッフらの熱中症対策への応用も模索するという。

両社の出会いは13年7月、三重県が東京で開いた商談会で隣り合ったことだ。この約1年前に対談した同県の鈴木英敬知事と岐阜

県の出会いは13年7月、三重県が東京で開いた商談会で隣り合ったことだ。この約1年前に対談した同県の鈴木英敬知事と岐阜



岐阜の古田肇知事が医療・福祉機器開発で連携すると合意し、タナックも招かれていた。それぞれの技術を生かし、医療用品を商品化することになったという。商品の開発にあたっては、中身の冷却ジェルを三重化学工業が製作し、外側の袋を樹脂素材の加工などを手がけるタナックが主に担当した。両端のシール部分が溶着できずに難航したが、三重化学工業が県工業研究所（津市）の助言を受けて克服する技術を確立し、5年余をかけて完成にこぎつけた。

今月6日、両社の代表者が報告のために両知事を訪ねた。手に取った鈴木知事は「商品ができて大変うれしい。フィット感があって名前の通りだ」と喜んだ。三重化学工業の山川大輔社長（左）は取材に「患者さんに寄り添った商品ができた。今後も人の助けになるような商品を開発していきたい」と話した。

（関謙次）

県内で4人軽傷 交通機関に乱れ

台風10号
大型の台風10号の影響で、県内では4人の軽傷者が出た。16日も複数の公共交通機関が運行を見合わせなど、影響が続いた。紀宝町内では野谷川が氾濫

人口減社会考える 鳥羽市で31日から

人口減社会への対応策を真剣に考えようと、鳥羽市が7回シリーズの講演会を開く。しあわせのセフントークと銘打った初めての試み。福祉やIT、広告、海産、人材育成の専門家が、過疎地の住民が前を向ける方法について提案する。市健康福祉課によると、現在約1万8千人いる市の人口は、2040年には1万人程度にまで激減するといふ予測がある。そうした

と、亀山市で15備えていすに垂っていた70代女性おられて転落した。伊勢市の強風にあおられるなど、14日夕方に計4人の軽傷者が出た。16日も複数の公共交通機関が運行を見合わせなど、影響が続いた。紀宝町内では野谷川が氾濫

飛騨の家具・国産家具
ベッドの専門店
ルームプラス 鈴鹿 検索

われわれ「世界1」

鳥羽水族館で特別展

鳥羽水族館（鳥羽市）で、様々な「世界NO.1」の称号を持つ生き物たちを展示する特別展が開かれていく。9月1日まで。

生息する魚類や両生類、昆虫など約50種類、約130点が並ぶ。両生類の中でも強毒性とみられる「モウドクフキヤガエル」や、淡

出場へ



賀市小田町
今年の5月に開かれたNHJ
抜選手権大会
分の競技に生
という。